



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年8月14日

上場会社名 株式会社ディー・ディー・エス 上場取引所 東
 コード番号 3782 URL http://www.dds.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 三吉野 健滋
 問合せ先責任者 (役職名) 管理担当取締役 (氏名) 貞方 渉 TEL 052-955-5720
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績（平成26年1月1日～平成26年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-----|------|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年12月期第2四半期 | 316 | 15.7 | △122 | — | △137 | — | △45 | — |
| 25年12月期第2四半期 | 273 | 25.5 | △77 | — | △113 | — | △121 | — |

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 △112百万円 (—%) 25年12月期第2四半期 △122百万円 (—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|--------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年12月期第2四半期 | △1.37 | — |
| 25年12月期第2四半期 | △3.91 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 26年12月期第2四半期 | 2,371 | 1,752 | 69.6 | 49.02 |
| 25年12月期 | 1,981 | 637 | 28.3 | 17.41 |

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 1,650百万円 25年12月期 560百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年12月期 | — | 0.00 | — | 0.00 | 0.00 |
| 26年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 26年12月期(予想) | — | — | — | 0.00 | 0.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成26年12月期の連結業績予想（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|-----|------|------|---|------|---|-------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 887 | 67.4 | △69 | — | △92 | — | △17 | — | — |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

平成25年11月8日に開示した「シナプティクス社によるバリディティセンサーズ社（当社株式保有先）買収の承認について」に記載の通り、シナプティクス社により業績連動分の支払いが行われる可能性があります。当業績予想については考慮に入れておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）-、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 26年12月期2Q | 33,675,300株 | 25年12月期 | 32,175,300株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年12月期2Q | 一株 | 25年12月期 | 一株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 26年12月期2Q | 32,813,532株 | 25年12月期2Q | 31,158,800株 |

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本業績予想作成時点において入手可能な情報に基づき当社が合理的と判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれているため、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 3 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第2四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 8 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 9 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 9 |
| (セグメント情報等) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

(業績)

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部には4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動が見られるものの、経済・金融政策の効果等を背景に、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、円安による原材料や原油価格の上昇、新興国の経済成長鈍化など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

この様な中で当社の主たる事業領域である情報セキュリティ業界におきましては、クラウドコンピューティングの普及や個人所有の情報端末の業務利用の増加、2016年より運用開始されるマイナンバー制度を見据えた自治体を中心としたセキュリティ強化の流れなどもあり、従来にも況して需要が高まりつつあります。

情報社会の発展とともに各ユーザーの扱う情報の重要性や記憶すべきパスワードの数が飛躍的に増大しており、その結果として、同じパスワードを使いまわす傾向が高くなっております。その結果、何らかの手段により他者のID・パスワードを入手してリスト化し、WEBサイトにアクセスを試みて不正にログインする「パスワードリスト型攻撃」が頻発しており、パスワード認証を用い続ける事に限界がみえつつあります。その結果として、パスワード認証に代表される「記憶」による認証から、なりすましの難しい指紋認証に代表される「生体認証」へ需要がシフトしつつあり、検討している企業や自治体が増えてきております。

また、指紋認証機能を搭載したスマートフォンの登場を背景に、スマートフォンメーカーやタブレット型PCメーカーから当社指紋認証ソフトウェアのライセンスのニーズが出てきております。さらにはクレジットカード会社やネット決済事業者などから指紋認証技術を利用してネットワーク上での本人確認サービスを行う認証局ビジネスへの引き合いも増えてきております。

こうした活動の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は316百万円(前年同期比15.7%増)となりました。損益面においては、5月の株式売却により138百万円の特別利益を計上したものの、4月の増資に伴う株主数の増加による支払手数料、海外営業の強化等に伴う紹介手数料および人件費、海外出張の増加による旅費交通費が、それぞれ増加しました。また、為替相場の影響により主に韓国子会社への貸付金に関して10百万円の為替差損が減少し、5百万円を営業外費用として計上しております。なお、7月15日に開示しております「特別損失発生見込および業績予想の修正に関するお知らせ」にて60百万円を見込んでいた当社の本業に関わる全ての固定資産の減損については、評価の結果15百万円減少し、減損損失として特別損失を44百万円計上しております。

これらの結果、営業損失122百万円(前年同期は営業損失77百万円)、経常損失137百万円(前年同期は経常損失113百万円)、四半期純損失45百万円(前年同期は四半期純損失121万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、主として第三者割当した新株予約権の行使の増資による現金及び預金の増加(109百万円の増加)および金銭信託の購入による有価証券の増加(495百万円の増加)により前連結会計年度末に比べて699百万円(123.1%)増加し1,267百万円となりました。この主な内訳は、現金及び預金536百万円、有価証券495百万円、売掛金152百万円であります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は、主として保有していたSynaptics社の株式売却による投資有価証券の減少(289百万円)により前連結会計年度末に比べて309百万円(21.9%)減少し、1,103百万円となりました。この内訳は、有形固定資産917百万円、無形固定資産34百万円、投資その他の資産151百万円であります。

投資その他の資産のうち、投資有価証券は92百万円で、これは主にDigitalSecu Co., Ltd.、SuperPix Micro Technology Ltd.等に対する出資金から構成されております。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は、主として短期借入金の返済(33百万円の減少)及び1年内返済予定の長期借入金の返済(644百万円の減少)により前連結会計年度末に比べて683百万円(81.2%)減少し、158百万円となりました。この主な内訳は、未払法人税等7百万円、賞与引当金4百万円、買掛金4百万円、その他142百万円であります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は、主として繰延税金負債(28百万円の減少)により前連結会計年度末に比べて40百万円(8.0%)減少し、461百万円となりました。この主な内訳は、長期未払金417百万円、退職給付引当金15百万円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、主として資本金(593百万円の増加)、資本準備金(593百万円の増加)により、前連結会計年度末に比べて1,141百万円(175.9%)増加し、1,791百万円となりました。その結果、自己費本比率は、前連結会計年度期末の28.3%から大きく増加し、69.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期の通期業績予想は、現在の売上の進捗状況や経費の見通しから、それぞれ連結売上高887百万円、連結営業損失69百万円、連結経常損失92百万円、連結当期純損失17百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

<継続企業の前提に関する重要な疑義を抱かせる事象または状況について>

当社グループは第13期連結会計年度から第17期連結会計年度までの5期連続して営業損失を計上し、第19期である前連結会計年度及び当第2四半期連結累計期間においても営業損失を計上しております。資金面については、平成25年9月3日開催の取締役会において第三者割当による第3回新株予約権の発行を決議し、前連結会計年度において800,625千円を調達しましたが、想定される年間必要資金及び借入金総額に比して財務健全性の観点から、手元資金は不足する状況でした。

そのため、当社グループには、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められるとして、前連結会計年度末において「継続企業の前提に関する事項」を注記記載しておりました。

当社グループでは、当該状況をいち早く解消すべく諸施策を実行しておりましたが、平成26年4月末までに全残存新株予約権が行使され1,161,800千円を調達することができました。これにより財務体質については大幅な改善が実現でき、平成26年6月末時点で無借金となりました。

当該状況から、依然として継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせるような状況が存在しているものの、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められなくなったと判断し、第1四半期連結会計期間において「継続企業の前提に関する事項」の注記記載を解消しております。

今後につきましても、収益性の向上を実現すべく、引き続き、以下の諸施策を実行して参ります。

①指紋認証を始めとしたバイオメトリクス分野におけるDDSブランドの認知度を高めるため、代理店主催の製品説明会への参加や大規模展示会への出展を前連結会計年度にも増して行います。また、PR会社との連携により、積極的なPR、広報活動を推進します。

②積極的に業務提携を推進し販路の開拓を進めてまいります。

③新規事業や新サービスを加速するため、研究開発力の向上を図り開発人員を強化する所存です。

④コンシューマー向けタブレット型PCやスマートフォン向け市場の開拓のためのアライアンスに引き続き精力的に取り組みます。また、産学連携を強化し国家プロジェクトや補助金事業に積極的にアプローチしていきます。

⑤FIDOアライアンスなどの業界団体からの情報収集および加盟企業との連携を始めとした海外事業の再構築により営業活動が軌道に乗るように、引き続き鋭意努力していく所存です。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 427,197 | 536,796 |
| 売掛金 | 64,473 | 152,206 |
| 有価証券 | - | 495,033 |
| 商品及び製品 | 21,068 | 18,022 |
| その他 | 55,637 | 65,833 |
| 流動資産合計 | 568,376 | 1,267,893 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 370,362 | 330,879 |
| 土地 | 581,932 | 581,932 |
| その他 | 11,296 | 4,724 |
| 有形固定資産合計 | 963,590 | 917,536 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 25,940 | 34,574 |
| 無形固定資産合計 | 25,940 | 34,574 |
| 投資その他の資産 | | |
| その他 | 423,445 | 151,459 |
| 投資その他の資産合計 | 423,445 | 151,459 |
| 固定資産合計 | 1,412,977 | 1,103,570 |
| 資産合計 | 1,981,353 | 2,371,464 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年12月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 27,060 | 4,140 |
| 短期借入金 | 33,300 | - |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 644,640 | - |
| 未払法人税等 | 7,306 | 7,087 |
| 賞与引当金 | 2,545 | 4,944 |
| その他 | 127,329 | 142,029 |
| 流動負債合計 | 842,182 | 158,201 |
| 固定負債 | | |
| 長期末払金 | 433,096 | 417,647 |
| 退職給付引当金 | 14,252 | 15,478 |
| その他 | 54,127 | 28,040 |
| 固定負債合計 | 501,476 | 461,166 |
| 負債合計 | 1,343,659 | 619,368 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,191,938 | 2,785,375 |
| 資本剰余金 | 2,281,954 | 2,875,391 |
| 利益剰余金 | △3,824,665 | △3,869,729 |
| 株主資本合計 | 649,226 | 1,791,038 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 73,272 | 20,358 |
| 為替換算調整勘定 | △162,225 | △160,776 |
| その他の包括利益累計額合計 | △88,953 | △140,418 |
| 新株予約権 | 77,420 | 101,475 |
| 純資産合計 | 637,693 | 1,752,095 |
| 負債純資産合計 | 1,981,353 | 2,371,464 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日) |
|--------------------|---|---|
| 売上高 | 273,254 | 316,210 |
| 売上原価 | 88,364 | 102,027 |
| 売上総利益 | 184,889 | 214,183 |
| 販売費及び一般管理費 | 261,969 | 336,914 |
| 営業損失(△) | △77,079 | △122,731 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 758 | 153 |
| 貸倒引当金戻入額 | — | 1,284 |
| その他 | 641 | 141 |
| 営業外収益合計 | 1,399 | 1,579 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 18,232 | 4,496 |
| 為替差損 | 1,878 | 5,126 |
| その他 | 18,139 | 6,912 |
| 営業外費用合計 | 38,251 | 16,534 |
| 経常損失(△) | △113,931 | △137,686 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | — | 138,396 |
| 特別利益合計 | — | 138,396 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | — | 44,535 |
| 関係会社株式評価損 | 2,278 | — |
| 課徴金 | 4,713 | — |
| その他 | — | 18 |
| 特別損失合計 | 6,991 | 44,554 |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △120,922 | △43,843 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 953 | 1,219 |
| 法人税等合計 | 953 | 1,219 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △121,875 | △45,063 |
| 四半期純損失(△) | △121,875 | △45,063 |

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日) |
|--------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純損失(△) | △121,875 | △45,063 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 19,523 | △52,913 |
| 為替換算調整勘定 | △20,401 | 1,449 |
| その他の包括利益合計 | △878 | △51,464 |
| 四半期包括利益 | △122,754 | △96,528 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △122,754 | △96,528 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年6月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純損失(△) | △120,922 | △43,843 |
| 減価償却費 | 34,391 | 35,250 |
| 減損損失 | — | 44,535 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 1,952 | 2,399 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 1,323 | 1,225 |
| 偶発損失引当金の増減額(△は減少) | △23,933 | — |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 4,268 | △1,284 |
| 新株発行費 | — | 3,300 |
| 株式報酬費用 | 8,599 | 33,429 |
| 受取利息及び受取配当金 | △758 | △153 |
| 支払利息 | 18,232 | 4,496 |
| 為替差損益(△は益) | 1,878 | 3,131 |
| 投資有価証券売却損益(△は益) | — | △138,396 |
| 関係会社株式評価損 | 2,278 | — |
| 売上債権の増減額(△は増加) | 85,457 | △87,709 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | △3,269 | 3,404 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | △11,158 | △20,612 |
| その他 | 24,251 | △4,690 |
| 小計 | 22,591 | △165,517 |
| 利息及び配当金の受取額 | 5 | 276 |
| 利息の支払額 | △14,272 | △4,859 |
| 法人税等の支払額 | △5,926 | △1,906 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,398 | △172,006 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △479 | △11,933 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | — | △21,058 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | — | 3,728 |
| 関係会社株式の売却による収入 | 721 | — |
| 無形固定資産の取得による支出 | △19,047 | △30,451 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 346,094 |
| 貸付けによる支出 | △17,848 | △5,238 |
| 貸付金の回収による収入 | — | 2,070 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △36,652 | 283,210 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額(△は減少) | 28,818 | △33,300 |
| 長期借入金の返済による支出 | △26,394 | △644,640 |
| 株式の発行による収入 | — | 1,177,500 |
| 株式の発行による支出 | — | △3,300 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 2,423 | 496,259 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 2,876 | △2,830 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | △28,954 | 604,632 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 78,444 | 427,197 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 49,489 | 1,031,829 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年1月28日、平成26年4月8日より4月25日までの間に断続的に、マイルストーン・キャピタル・マネジメント株式会社から新株予約権の行使による払込みを受けました。この結果、当第2四半期連結会計期間において資本金が585百万円、資本準備金が585百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が2,785百万円、資本準備金が2,875百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年1月1日 至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2 |
|-----------------------|----------------|------------|-----------|---------|--------------|--------------------------------|
| | バイオメ トリクス事業 | 受託開発 事業 | 不動産 関連 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 252,931 | 1,800 | 18,522 | 273,254 | — | 273,254 |
| セグメント間の内部売 上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 252,931 | 1,800 | 18,522 | 273,254 | — | 273,254 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 47,053 | 1,787 | 60 | 48,902 | △125,982 | △77,079 |

(注) 1. 調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに
帰属しない基礎的試験研究費及び総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産に
ついては、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 (注) 1 | 四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2 |
|-----------------------|----------------|-----------|---------|--------------|--------------------------------|
| | バイオメ トリクス事業 | 不動産 関連 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 295,788 | 20,422 | 316,210 | — | 316,210 |
| セグメント間の内部売 上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 295,788 | 20,422 | 316,210 | — | 316,210 |
| セグメント利益又は損失 (△) | 76,370 | 2,390 | 78,760 | △201,491 | △122,731 |

- (注) 1. 調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎的試験研究費及び総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。
3. 第1四半期連結会計期間より、従来の「自社製品開発事業」を「バイオメトリクス事業」に名称変更致しました。
2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
報告セグメントに帰属しない全社資産において、本社の土地、建物(「不動産関連」セグメントにかかる部分を除く)の帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において44,535千円であります。
3. 報告セグメントの変更等に関する事項
該当事項はありません。